

Persona 4 から「ジュネスのテレビ」を召喚

[Persona 0 第一話](#)  
[Persona 0 第二話](#)  
[Persona 0 第三話](#)  
[Persona 0 第四話](#)  
[Persona 0 第五話](#)  
[Persona 0 第六話](#)  
[Persona 0 第七話](#)  
[Persona 0 第八話](#)  
[Persona 0 第九話](#)  
[Persona 0 第十話](#)  
[Persona 0 第十一話](#)  
[Persona 0 第十二話](#)  
[Persona 0 第十三話](#)  
[Persona 0 第十四話](#)  
[Persona 0 第十五話](#)  
[Persona 0 第十六話](#)  
[Persona 0 第十七話](#)  
[Persona 0 第十八話](#)  
[Persona 0 第十九話](#)  
[Persona 0 第二十話](#)  
[Persona 0 最終話](#)

[Persona 0 ペルソナ全書](#)

あらすじ Persona 4

両親が海外出張に行き、一人日本に残された主人公は、1年間の期間限定で母方の叔父の家に居候することになりました。やってきた田舎の町、そこでは「雨の夜の午前0時に点いていないテレビで自分の顔を見つめると、別の人間が映る」と言う“マヨナカテレビ”噂が流れていました。

その噂を確かめようとした主人公たちはひょんなことテレビのなかへと吸い込まれてしまいます、初めて入ったテレビのなかそこはシャドウと言う化け物が徘徊する異世界。

シャドウに襲われペルソナ能力を覚醒させた主人公たちは、そこに居たクマの話から町で起きている連続殺人事件とマヨナカテレビが関係あると睨み、事件の解決に向かって独自の捜査を始めることに……

用語の紹介

ペルソナ

人が誰しも持っている、心の中に秘めた「もう一人の自分」であり、

さまざまな困難を乗り越えるための心の鎧。

神や魔物の姿をしており、力に目覚めたものだけが使役できる。

人の精神の在り方によって成長・変化するペルソナ使いは基本一人一専用ペルソナを持つ。

3や4の主人公は「ワイルド」の才能を持っており、さまざまなペルソナを付け替えて戦うことができる。

「ワイルド」とは”何にでもなれるが何もでもない数字の0のようなもの”

シャドウ

人から離れ、暴走した状態のペルソナは人の精神を喰り食う存在となる。

それがシャドウである、近くに強い“個”を持ったシャドウがいるとそれを核に寄り集まって成長し、巨大なシャドウとなって現れる。

霧の晴れる日に凶暴化し、テレビのなかにいる人間を殺してしまう。

もう一人の自分

テレビのなかの世界で現れる誇張された自分自身の内面の象徴。

拒絶すればシャドウとなって宿主を殺し。

受け入れればペルソナとなって宿主を守る。

マヨナカテレビ

稲羽市に流れている噂。雨の降る夜の午前0時に、点いていないテレビで自分の顔を見つめると、別の人間が見える。その人物が運命の相手だという噂。

クマ

テレビのなかの世界の住人、よく利く鼻とテレビの内と外を繋ぐ能力を持っており、犯人にテレビのなかに人を放り込むのを止めさせるために主人公たちに協力することになる。  
見た目は可愛いきぐるみのような姿をしているが、その中身は「空っぽ」

あらすじ Persona 0

ルイズがサモンサーヴァントで呼び出したのは、とあるデパートの家電売り場で売られている大型のテレビでした。  
電気も電波も来ていないはずなのに何故か動くその未知の器物を訝しく思いながら、しかし生物ですらないものを召喚してしまったことに対するいらだちからルイズはテレビに八つ当たりをしてしまいます。  
しかし八つ当たりで蹴りつけたはずの足がテレビに吸い込まれ、偶然様子を見にきたキュルケともども二人はテレビのなかの世界へ。  
そこで出会ったのは、